



# 全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2020年2月20日

発行NO 2020 - 30号

## 特集 畜産経営者交流会

- ☆ 全日畜・工業会・全日基の商系3団体は、2月17日（月）畜産経営者との交流の場として平成27年からスタートした畜産経営者交流会を都内で開催した。
- ☆ 今回は、取巻く情勢が大きく変化している環境の下で「魅力ある畜産経営を考える」をテーマに、全国から多くの生産者等が参加する集会となりました。
- ☆ 講演会、生産者発表会、交流会とも大盛会でした。

## 7回 畜産経営者交流会

主催：協同組合 日本飼料工業会 一般社団法人 全日本畜産経営者協会 一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金



(写真：開会で挨拶する全日畜 金子理事長)



(写真： 左、開会で挨拶する工業会 岡本会長、 中・右、生産者代表と飼料メーカー代表によるスピーチ)

## 冒頭の「基調講演」は農林水産省の 姫野 流通飼料対策室長から

- ☆ 最初のコーナーは「基調講演」。講師は農林水産省生産局畜産部飼料課の姫野流通飼料対策室長で、タイムリーな話題を大所高所からご講演。
- ☆ 講演は、貿易自由化に向かう①国際協定の動向、②畜産物等の需給動向、③今後の農政・畜産行政の動向と主な予算、と続き、最後に規制緩和の動向として④畜舎建築基準の緩和について話題提供がありました。
- ☆ 講演では、全国から参加された畜産経営者の関心の高い課題について解説をいただき、講演後には時間を超過して質疑応答が続きました。



(写真：講演は 姫野崇範 氏)

(主な質問等)

- Q1 基金制度は借入金完済後も現行ルールで継続か
- Q2 国産飼料原料は大事、飼料用米政策は拡大するか
- Q3 畜産クラスター事業を有効活用する手立ては
- Q4 建築基準法以外にも規制緩和要望は沢山あるが
- Q5 畜産現場での「働き方改革の遵守」は相当キツイ
- Q6 和牛・乳用牛の増頭施策の市場への影響が関心事



(写真：会場には全国から多くの生産者等が参加)

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

## 講演後の、生産者からの「事例発表」と「交流会」も大盛会

☆ 基調講演に続いて、畜産経営の現場での「工夫ある取組」について、4名の生産者から発表をいただき会場の参加者と意見交換。女性経営者2名を含む特徴ある4事例の発表に質疑も活発。基調講演の姫野室長も加わり有意義な意見交換が続いた。夕方からは「交流会」でさらに情報交換の深掘り。



(農場での菅谷ご夫妻)

### ◎ 発表テーマ：「魅力ある畜産経営の実践について」

発表者：農事組合法人 清和畜産（養豚・千葉県） **菅谷 結子 様**

講師から、生産フロー改革を決断した背景と実践、女性の私が農場の経営に関わってよかったこと等の発表。発表後は、Q老朽化した豚舎を壊しているがこの時の課題は、Q他県に繁殖部門を新設移転しているが、従業員の手配は、等々。

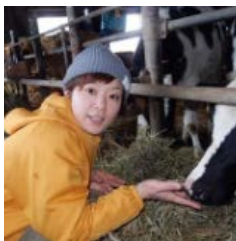


(従業員と志村社長)

### ◎ 発表テーマ：「地域と連携した畜産経営について」

発表者：有限会社 竹鶏ファーム（採卵鶏・宮城県） **志村 浩幸 様**

講師から、竹鶏ファームの企業理念、人材育成、ブランド化、雇用創出による地域連携と地域振興等の発表。発表後は、Qそろそろ引退との話、後継者の選出は、Qアニマルウエルフェアへの考え方は、等々。



(牧場での小林代表)

### ◎ 発表テーマ：「女性が参画する畜産経営の活躍について」

発表者：株式会社 mosir/小林牧場（酪農・北海道） **小林 晴香 様**

講師から、女性の視点での牛舎改築、女性後継者の取組み、女性酪農家が輝く酪農経営を目指して等の発表。発表後は、Q酪農女性サミットではどんな話し合いをするのか、Qサミットを女性で立ち上げる女性のモチベーションは、等々。



(従業員と石川社長)

### ◎ 発表テーマ：「Salesforceによる農場ビッグデータの管理と活用について」

発表者：有限会社 石川養豚場（養豚・愛知県） **石川 安俊 様**

講師から、養豚場の沿革と課題、クラウドサービスとしての「Salesforce」導入の背景、「Salesforce」システムの概要と家畜の飼養管理の各工程での利用状況、スマート畜産とSalesforceシステムの課題等について発表。

☆ 来賓の農林水産省や中央の畜産団体の幹部の皆さんは一樣に「このような畜産経営者との交流は大変有意義」と挨拶。



(写真：時間を超過しての会場との質疑応答)



(写真：恒例の交流会参加者による集合写真撮影)

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）